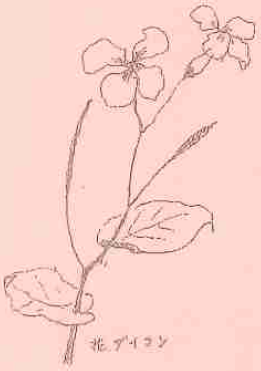

ー ウイルス禍の春に ー

新型コロナウイルス禍の中で今年の春は過ぎました。暮らしネット・えんの日々は一見いつもと変わりませんが、経験したことのない緊張が続いています。認知症カフェやだれでも食堂にいざ、まどかコンサートと、えんが力を入れてきた行事をすべてお休みにせざるを得ませんでした。丁寧に説明し、質疑することをモットーとしてきた定例総会も今回は書面総会にいたします。残念ですが、いたしかたありません。どうぞご了解ください。

そんな中でうれしいことがありました。貴重な品々を相次いでご寄付いただいたのです。消毒液を送ってくださった見ず知らずの方、えんの入り口にマスク300枚を黙って置いていかれた方、中国から取り寄せたたくさんのマスクを寄付してくださった方、グループホームえん入居者の曾孫さんから可愛い応援メッセージ、ずっと以前の利用者さんご家族からも貴重なマスクをいただきました。心より御礼を申し上げます。

原子爆弾を作り、宇宙に飛び出し、臓器を移植する技術を手に入れても、予防法はマスクと換気に隔離、100年前のスペイン風邪の時と変わりません。たった1種のウイルスに世界中の人々が息をひそめて収束を待つ日々です。放射能もウイルスも、ほんとうに怖いものは目に見えないのですね。東日本大震災に続いて、今回も人間の力がどれほど小さいものか思い知らされました。「ほんとうに大切なものは目にみえない」とは星の王子さまですけれど、みんなで心おきなく笑いあったり、一緒に食事したり、ちょっとしたお出かけを楽しんだり、そんなあたりまえの暮らしがどんなに愛おしく大切なものか、今回の経験で今さらながら知りました。

それでも収束する日は必ず来ます。私たちは今回の経験をしっかり記録し記憶し、次につなげていきたいと考えています。

皆さま、くれぐれも健康に気をつけてお過ごしください。

代表理事　小島美里

※首都圏のNPO等と一緒に、総理大臣・厚生労働大臣・国会議員に宛て『訪問系サービスにおける新型コロナウイルス対策の要望書』を提出しました。ホームページに要望書と記者会見の動画をアップしています。

※前号でお伝えした『介護保険の崩壊を絶対に許さない！1.14院内集会』が岩波書店より、ブックレット「介護保険が危ない」にまとめられました。販価620円です。